



質問 1 お子さんは、元気に登校し楽しく学校生活を過ごしていますか。 (93%) …※満足している+いいと思う

90%以上の保護者が、A または B と回答していることから、本校が子どもたちにとって楽しく過ごすことができる場所であると考えられています。しかし、少数ですが C や E の回答もあります。学校が子どもたちにとってより一層、楽しく過ごせる場所であるよう家庭と連絡を密にし、子どもたちの成長を支援していく必要があると考えています。

質問 2 お子さんは、家庭学習に意欲的に取り組んでいますか。 (67%)

学年に応じて家庭学習の意義を子どもたちに伝えていく必要があります。学校で学習したことを家庭で復習することで、習熟・定着を図ることができます。また、毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。低学年のうちから毎日少しずつでも欠かさず家庭学習をさせることが大切だと考えています。

質問 3 学校は、お子さんの学力向上に努めていますか。 (89%)

児童アンケートの『授業はよくわかりますか』の問いに、子どもたちは“はい (61%)” “まあまあ (36%)” と回答しています。しかし、保護者の回答は、“はい (29%)” “いいと思う (60%)” と児童の回答と少し異なります。学校はこれからも子どもたちが「わかった」「できた」と実感できる授業を展開していく必要があります。また本校の学力向上に関わる実践を、様々な機会を通じて保護者に発信していくことも大切だと考えています。

質問4 学校は、家庭への「たより」等で、児童や学校の情報を積極的に提供していますか。 (89%)

本校は、学校だよりやホームページ、学年・学級通信等で学校や児童の様子を地域や保護者に発信しています。ホームページのトピックスには学校の様子や出来事が載せられています。また、予定には来月分の予定も載っていますが、あまり頻繁にチェックされていないようです。保護者アンケートの記述欄に「行事や準備物などの連絡をもう少し早くほしい」「ホームページはあまり見る機会がないので、紙（通信等）で知らせてほしい」という意見が複数ありました。学校行事については、PTA 総会で配布される年間行事計画やホームページで確認することができることを保護者に周知したり、学年通信等で月行事を知らせる場合、当面（来月以降）の大きな行事も一緒に記載したりするなど、保護者のニーズに合った情報を提供していくことが大切だと考えています。

質問5 学校は、保護者に対して、適切に対応していますか。 (92%)

学校と保護者は早い時期に信頼関係を築くことが大切です。「先生は自分を大切にしてくれる。」「親身になって相談にのってくれる。」「授業が分かりやすい。」「あの先生の授業はやる気になる。」「困ったときに頼りになる。」など、子どもたちが教師を信頼する声を通して、保護者は学校の様子を知るとともに教師に信頼を置くようになります。保護者の信頼を得るためには、日ごろの教育活動を通して一人ひとりの子どもとの信頼関係を深めていくことが大切です。

何か問題が生じた時でも、事前に信頼関係ができていれば、お互いが適切に連携できるようになります。学校は困ったときだけでなく、子どもが頑張ったことがあれば、その日のうちに電話で伝えるなど、保護者との連携を密にし、より一層、信頼関係を築くことが大切だと考えています。

質問6 学校は、不審者への対応、子どもの事故防止に努めていますか。 (90%)

登下校の指導、避難訓練や職員の不審者対策研修の実施など、本校の取り組みが保護者に伝わっていないことが考えられます。ホームページやたより等を通じて、今後も発信していくこと大切だと考えています。

質問7 あなたは、お子さんと学校や学級の様子について話をしていますか。 (86%)

保護者は学校で起こったいろいろな話を子どもから聞きたいものです。しかし残念ながら、家に帰って学校でのことをあまり話さないという子どももいます。また、仕事や家事で忙しく、子どもと話す時間がなかったり、うまく子どもから話を聞き出せなかったりする場合もあります。学校や学級の情報をできるだけ多く提供したり、子どもとの会話の仕方を伝えたりするなど、家庭で保護者と子どもが学校での出来事や様子について話す機会を持てるよう、学校も取り組んでいかなければなりません。

また、友達関係のトラブルの多くは大人の気が付かないところで起こります。親が子どもの変化に気づき学校に相談してくれることで、担任も早くその事態に気づくことができます。学校と家庭の両面で子どもを見守っていただくことが大切だと考えています。

質問8 あなたは、授業参加や懇談会等に出席するよう心がけていますか。 (93%)

学校への関心が非常に高いことが伺えます。保護者は子どもたちの姿だけでなく、掲示物や教室の様子（黒板、教師の机や子供たちの机、本棚やロッカーの様子など）など様々なところを見えています。担任と話をしなくても教室の雰囲気を感じとっているのではないのでしょうか。学校は授業参観や懇談会を保護者と信頼関係を築く一つの場として捉え、保護者と話をしたり、また、必要な情報を発信したりしていくことが大切だと考えています。特に、気になる児童の保護者には、子どものいいところを伝えたり、家庭での様子を聞いたりするなど積極的に関わっていくようにしたいと考えています。

文責：永井